



## 基本理念

時代環境がめまぐるしく変化し、また、少子化が一段と進行する今日にあって、子育て家庭が抱える問題やニーズは多様化の傾向を強めているとともに、子どもの健全育成をめぐる課題も多様化しています。

子育ての一義的な責任は、それぞれの家庭（保護者）が負うものであり、結婚や出産はそれぞれの選択に委ねられるものですが、家庭の子育て力や地域の扶助機能が低下している状況下では、子育てを家庭だけの問題とするのではなく、市民一人ひとりが共通の課題として認識し、相互に協力しながら子育て家庭を支援し、子どもたちの健全な育成と大人への自立、いわゆる“子育て”に積極的にかかわっていくことが不可欠となっています。

このため、地域が本来もちあわせていた子育て支援機能を今日の課題に合わせて再構築することにより、世代を超えて子どもを見守り、子育て家庭を支える環境を地域一体となって創り出していく必要があります。

また、少子化の進行や社会環境の変化の中で、子ども自身が主体的に生きる力や社会性を身につけ、人間性豊かでたくましい次代の担い手として自立していくことが求められており、「子どもの利益が最大限に尊重される」ことを基本に、子どもの健全育成と大人への自立を地域として支えあう環境づくりが課題となっています。

## 重点目標

### （１）すべての子どもの健やかな育ちと自立を応援するまちづくり

すべての子どもが健やかに成長し、「生きる力」を育ていけるよう、福祉・保健・教育などの施策連携に一層努めるとともに、地域の社会資源、子育て力を生かしながら、子どもに同世代・異年齢世代との交流や実体験の機会の充実を図るなど、すべての子どもが社会性を備えた大人へと自立していく環境づくりをめざします。

### （２）子どもを安心して楽しく生み育てられるまちづくり

子育て家庭の生活実態は多様であり、子育てにかかわるニーズも必然的に多様化しています。このため、すべての子育て家庭を支援していくため、家庭・地域・企業・行政など地域を構成する主体が相互に連携しながら、子育て家庭の多様なニーズに対応できるよう、公的サービスと市民による支えあい活動を組み合わせ、地域における子育て機能の再構築に取り組み、子どもを安心して楽しく生み育てられるまちづくりをめざします。

### （３）全市的な連携による安心できる子育て環境づくり

次代の担い手である子どもを安心して生み育てられる環境を整備するため、少子化問題を新市として取り組むべき重要課題の一つとして共有し、家庭・地域・企業・行政など地域のすべての構成メンバーがそのために果たすべき役割を認識しあい、相互に連携した重層的な子育て支援・子育て支援のネットワークづくりをめざします。

